

第11回

# 化学史研修講演会

<http://kagakushi.org>

日時 2014年8月23日(土) 13:00 ~ 16:15

場所 CIC(キャンパス・イノベーションセンター東京)

<http://www.cictokyo.jp/> 〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

最寄駅: JR山手線・京浜東北線 田町駅(徒歩1分)

都営三田線・浅草線三田駅(徒歩5分)

## プログラム

佐川真人(インターメタリクス(株)最高顧問)

### 「永久磁石の歴史とネオジム磁石の発明」

日本の磁石の研究開発は本多光太郎によるKS鋼の発明以来、世界をリードしてきました。佐川真人博士は、「資源が豊富な鉄で、安くて強力な磁石」という難しいテーマに挑戦し、1982年に世界最強の永久磁石である「ネオジム磁石」を発明され、その後工業化にも成功されました。この磁石は、現在ではハイブリッドカー、携帯電話、エアコンのモーター等、非常に広い分野で使われ、現代社会の必須の材料になっています。この功績により2012年日本国際賞などの多くの賞を受賞しました。磁石の歴史と「ネオジム磁石」の開発経緯についてお話し頂きます。

菊池好行(国立大学法人 総合研究大学院大学特任准教授)

### 「幕末のロンドンにおける薩長留学生と化学の邂逅」

昨年は、日本から初めての英国留学生である長州藩留学生(長州ファイブ)がロンドンに到着した1863年から数えて150周年という記念すべき年でした。本講演では、2年後の薩摩藩留学生と合わせて、彼らのユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)での化学を中心とする勉強、UCL化学者との親交の様子を紹介するとともに、その後の日本化学史へのインパクトについて、菊池好行博士にお話し頂きます。

主催 化学史学会  
後援

(公社)日本化学会

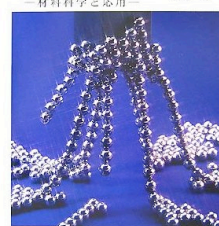
(公社)新化学技術推進協会

日本基礎化学教育学会

日本理化学協会

東京都理化学教育研究会

### 永久磁石



M. Sagawa

### ANGLO-AMERICAN CONNECTIONS IN JAPANESE CHEMISTRY

The Lab as Contact Zone

YOSHIYUKI KIKUCHI



Y. Kikuchi

参加申込: 葉書・FAX・e-mailのいずれかにて、氏名・所属・連絡先を明記の上、お申し込み下さい。ただし、当日参加も可。  
〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25  
TEL 048-471-6631 FAX 048-473-0455  
参加費 無料(資料代1,000円)  
その他 申込を受付後、受講証をお送り致します。希望者には修了証を発行しますので、その旨お知らせ下さい。

化学史学会